

尾張旭駐車場（仮称）におけるダルマガエル保全地の経緯等について

1 2005年日本国際博覧会に係る環境影響評価追跡調査（予測・評価）報告書（その3）へのダルマガエル保全に関する助言

経済産業大臣より、必要に応じ、生息地を保全することを含めて、ダルマガエルの生息環境の維持・創出に努めるよう助言をいただいた。

環境大臣より、周辺の生息地も含め事業による影響を受ける範囲が広いと考えられることから、改変が可能な限り少なくなるよう、工事計画をさらに検討するよう助言をいただいた。

愛知県知事より、ダルマガエルの保護及び生息環境の保全について、基本設計の見直しも含め回避、低減策を検討するよう助言をいただいた。

尾張旭市長より、ダルマガエルの保護及び生息環境の保全に関して、基本設計の見直しも含め生息地の保全にできるかぎりの配慮をするよう助言をいただいた。

2 ダルマガエルの保全策

国際博覧会協会は次の状況を確認し、専門家のご意見を得て、尾張旭駐車場で一部区域約 2,800m²（3枚の水田）について、現況のまま保全することとしました。

ダルマガエルにとって、より生息に適した核となる場所の特定。

駐車場建設予定地は、博覧会協会開催のための一時的な借地であるが、開催期間中を含め、ダルマガエルの保全地として利用することについての地権者の理解。

ダルマガエルの保全地として、現況耕作土が有する機能を保全することが最適との判断。

3 駐車場計画

計画地 5.1ha のうち約 0.3ha が減じることとなるが、1台あたりの駐車スペースの見直しを図る等により、当初計画台数 1000 台を確保することとしました。

4 ダルマガエルの保全活動

ダルマガエルの保全地については、地域で活動されている自然保護団体の協力を得て、小学校の環境学習の場として利用していただいております。また、博覧会終了後は駐車場として使用していた他の水田等についても原状に復することとしていますので、自然保護団体や小学校の活動を通してダルマガエルの保全が継続されるよう働きかけてまいります。



